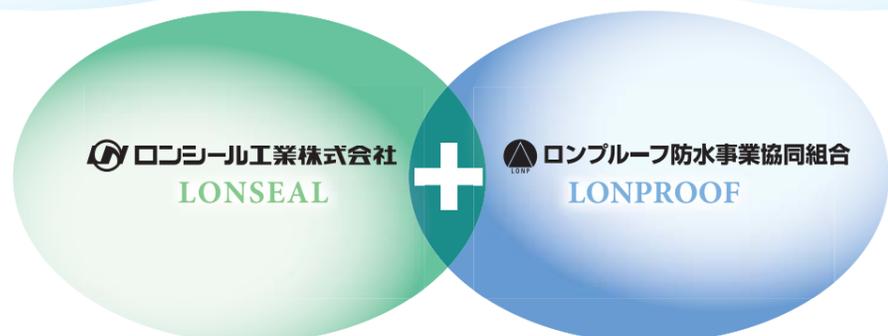


実績ある責任施工体制とすぐれた防水システムが安心をお届けします。

ロンシール工業（株）の製品とロンプルー防水事業協同組合の施工体制による万全の施工をお約束します。

「ロンシール工業株式会社」
「ロンプルー防水事業協同組合員」
連名による協同保証システム。

万全の防水工事
責任施工体制 全国230社



循環型社会に対応した
環境にやさしい防水資材

シート防水のパイオニア
50年以上の歴史に裏づけられた
信頼の防水工法

ロンシール工業株式会社

防水事業部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

防水営業部

- 東京営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846
- 札幌営業所 〒060-0062 札幌市中央区南二条西13-319 南大通ビル二条館6F TEL.011-271-0411 FAX.011-271-0422
- 仙台営業所 〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号 TEL.022-301-8788 FAX.022-301-8767
- 北関東営業所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号 TEL.048-664-1511 FAX.048-664-3431
- 横浜営業所 〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F TEL.045-662-7370 FAX.045-661-0860
- 大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F TEL.06-6304-2704 FAX.06-6304-6948
- 名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F TEL.052-950-3200 FAX.052-950-3213
- 広島営業所 〒732-0827 広島市南区福荷町2-16 広島福荷町第一生命ビルディング4F TEL.082-506-2500 FAX.082-506-2514
- 福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジラビル2F201号 TEL.092-472-5857 FAX.092-473-6179
- 首都圏営業所 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 FAX.03-5600-1846

マーケティング部 〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1803 FAX.03-5600-1807
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F TEL.06-6304-2705 FAX.06-6304-6948

ホームページアドレス <http://www.lonseal.co.jp/>

ロンプルー防水事業協同組合

ホームページアドレス <http://www.lonproof.or.jp/>

事務局 〒130-0021 東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F TEL.03-5600-4036 (代) FAX.03-5600-4037

KRK 弊社は40年の実績を誇るシート
防水材料の優良メーカーの団体
である当工業会の加盟会社です

合成高分子ルーフィング工業会
<http://www.krkroof.net>

お問い合わせ・お申し込みは _____

※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
 ※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
 そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合もございます。
 ※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、
 各仕様書・要領書をご確認ください。
 ※当カタログの無断転載・複製を禁じます。

2014年2月版
(2015年4月一部修正版)

LONSEAL

屋根の温度を下げ、ライフサイクルコストも下げる

遮熱防水工法

2014年2月版

屋根の温度を下げて
建物をガード

都市部の温暖化を
抑える!

遮熱シート「ベストプルーフシャネツ」防水仕様

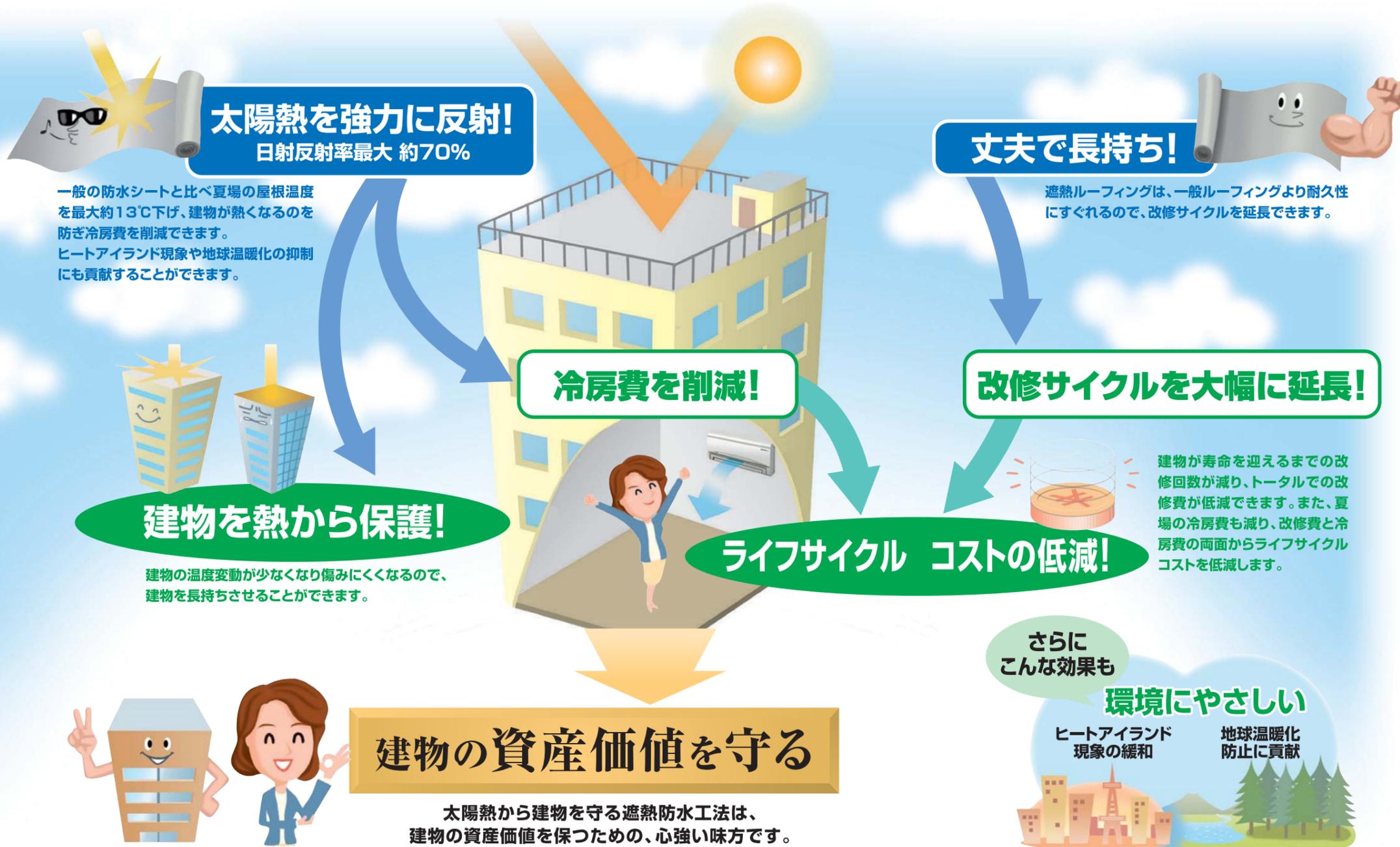
グリーン
購入法
適合

ロンシール

建物が長持ちしたり、ライフサイクルコストが下がったり、お得がいっぱい。

ハイレベルの耐久性と遮熱性能により、たくさんのメリットが得られます。

「太陽からの熱は、建物にダメージを与える」ということ、ご存知ですか？ 太陽熱を屋根面ではね返す「遮熱防水工法」は、建物を長持ちさせたり、冷房費が節約できたり、うれしいメリットがいっぱいです。



遮熱とは?

太陽光(熱)を反射することで夏場の温度上昇を抑え、建物に伝わる熱の量を減少させます。これまではコンクリートなど蓄熱体として使用する、断熱工法が数多く採用されてきましたが、建物の維持コスト削減の観点からも、遮熱工法はこれからの時代の建物に求められる新しい工法です。

遮熱防水工法 太陽熱を反射
太陽からの熱を強力に反射するから **建物にやさしい**

一般防水工法 太陽熱を吸収・蓄熱
太陽からの熱をたくわえるから **建物が早くいたむ**

遮熱はヒートアイランド対策の切り札!

国や行政では、ヒートアイランド対策として「遮熱(屋根の高反射率化)」が推奨されています。

「遮熱」を対策として掲げる主な制度

- 東京都環境局「東京都ヒートアイランド対策ガイドライン」を作成
- 東京都建築物環境計画書制度の施行
- 東京都が屋上緑化や高反射率塗料による「クールルーフ推進事業」を発表
- 大阪府「建築・まちづくりにおけるヒートアイランド対策に関する指針」
- 国土交通省による「ヒートアイランド現象緩和のための建築設計ガイドライン」作成 他

ほとんどの屋根、屋上防水仕様に対応
施工方法は、一般の防水シートと同じ

マンションの屋上改修に!

工場・ショッピングセンターなどの大規模建築物に!

ロンシールの遮熱防水工法

シート防水初!!* 屋上防水シートが遮熱性能を発揮
遮熱(高反射)・高耐久屋上防水
「ロンブルーフシャネツ」「ベストブルーフシャネツ」屋上防水仕様

*ベストブルーフシャネツ 発売2004年9月 当社調べ

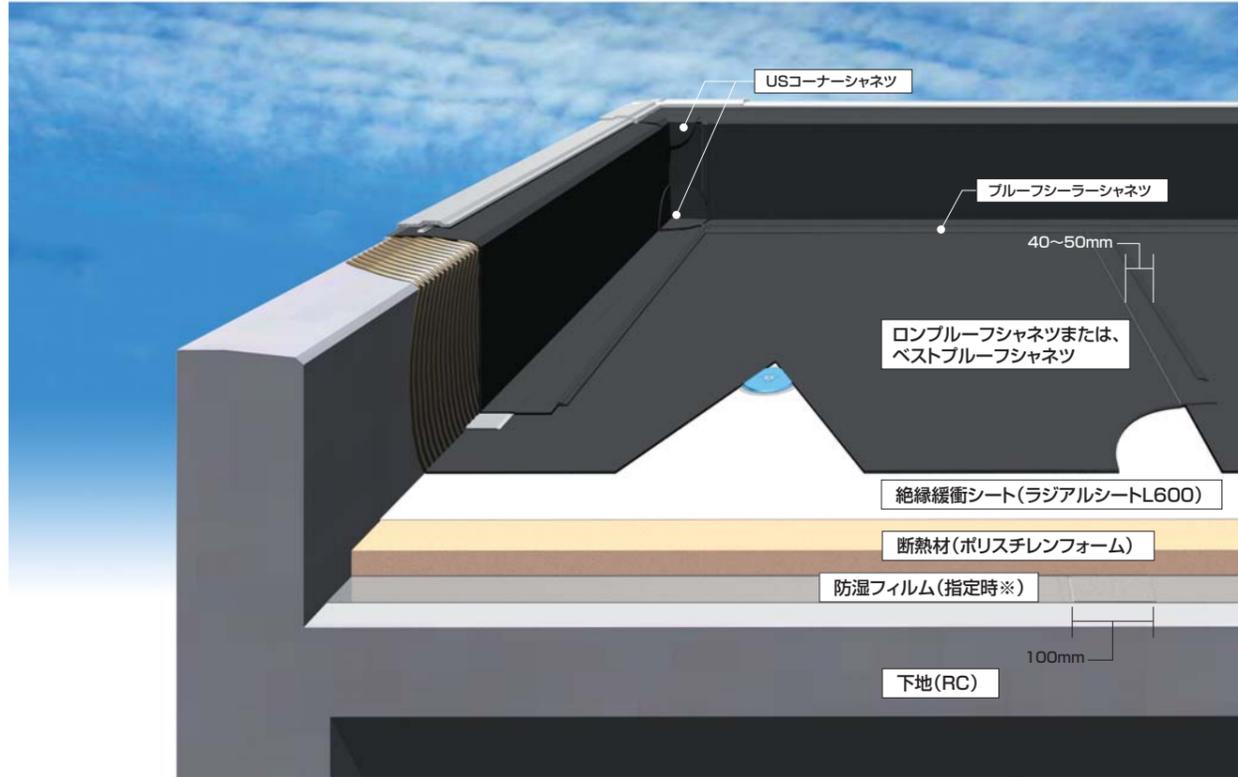
遮熱(高反射)・高耐久防水仕様

ロンブルーフシャネツ・ベストブルーフシャネツ防水仕様

グリーン購入法適合

シート防水業界初の遮熱(高反射)ルーフィング*1を使用した屋上防水仕様です。
用途に合わせて、1.5mmの「ベストブルーフシャネツ」と2.0mmの「ロンブルーフシャネツ」をご用意。
すぐれた防水性能はそのままに、ハイレベルの遮熱(高反射)性能を発揮します。

*1 当社調べ



●このイラストは、225UD仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。
※国土交通省 公共建築(改修)工事標準仕様書(H25年度版)SI-M2/日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8)S-PMT(寒冷地仕様I~III地域)

さまざまな屋根に適用可能です

「ロンブルーフシャネツ」「ベストブルーフシャネツ」は、汎用ルーフィング「ロンブルーフェース」「ベストブルーフ」をグレードアップしたルーフィングです。
これらシートが適用できる工法のほぼすべてに対応可能で、さまざまな屋根に活用できます。



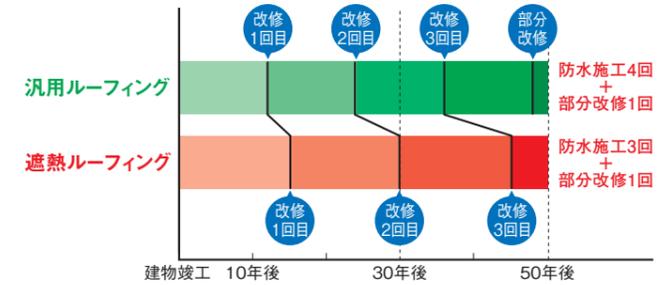
工法	仕様	用途	適用可否
接着工法	110仕様	非歩行/歩行	◎
断熱接着工法	123仕様	非歩行	◎
断熱接着工法(歩行対応)	124・125・127仕様	歩行	○(ロンブルーフシャネツのみ)
機械的固定工法	210仕様	非歩行/歩行	◎
断熱機械的固定工法	224・225・227仕様	非歩行	◎
金属下地屋根断熱機械的固定工法	SD仕様	非歩行	◎

※ベストブルーフシャネツ:非歩行用防水シート(点検程度は可)、ロンブルーフシャネツ:歩行対応防水シート(工法上不可の場合は不可)

高耐久ルーフィングで改修サイクルを延長

遮熱ルーフィングは、汎用ルーフィングに比べ高耐久。建物の改修サイクルの延長や、ライフサイクルコストの低減に貢献します。
改修サイクルが延長することで、管理手間の低減など付帯効果も期待できます。

■遮熱ルーフィングにより改修回数の低減が図れます。



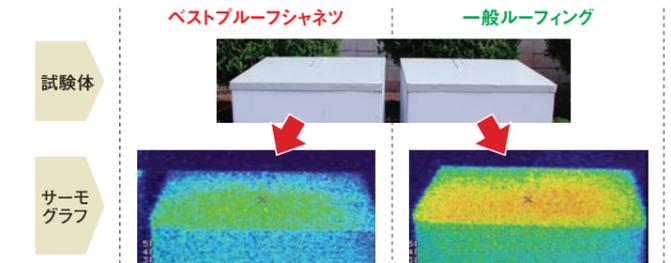
新築時から、シート防水が採用されたと仮定しています。
保証年数は、汎用ルーフィング・遮熱ルーフィングともに10年を上限とします。

日射反射率 最大約70%で、屋上表面温度をダウン*

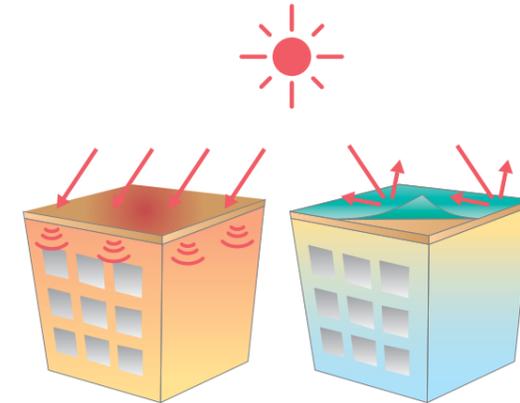
遮熱ルーフィングは、汎用ルーフィング比、日射反射率(赤外反射率)を最大約70%と飛躍的に向上させたルーフィングです。
高い反射性能により、屋上温度を抑制します。その結果、躯体の熱変動・蓄熱が抑えられ、建物の保護効果が期待できます。

*一般ルーフィングの表面温度80℃の時、グレー色同士の比較

■ベストブルーフシャネツの遮熱性能をサーモグラフで見ると...



ベストブルーフシャネツと一般ルーフィングの表面温度を比較すると、ベストブルーフシャネツの方が温度の上昇が抑えられています。



建物内に侵入する熱量を抑制し、冷房効率もアップ

建物に侵入する熱量を抑制することにより、建物の温度上昇が抑えられます。そのため、同じ温度設定で冷房した際の冷房効率がアップします。

ヒートアイランド現象の抑制と地球温暖化防止への貢献

屋根表面温度の低下と冷房排熱の抑制により、ヒートアイランド現象の緩和に貢献します。
また、冷房に必要なエネルギーが少なくなるので、発電に伴う二酸化炭素の排出量も低減し、都市環境のみだけでなく、地球環境にもやさしい防水仕様です。



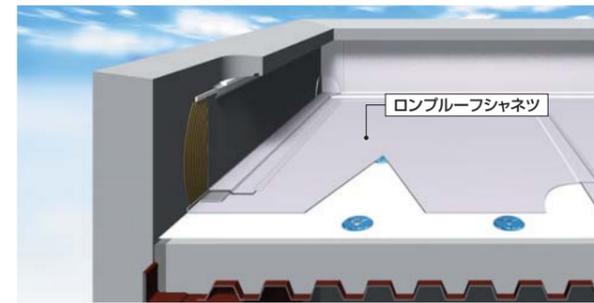
すぐれた汎用性

さまざまな屋根に 適応可能です

「ロンブルーファシャネツ」「ベストブルーファシャネツ」は汎用ルーフィング「ロンブルーフェース」「ベストブルー」をグレードアップした遮熱(高反射)ルーフィングです。

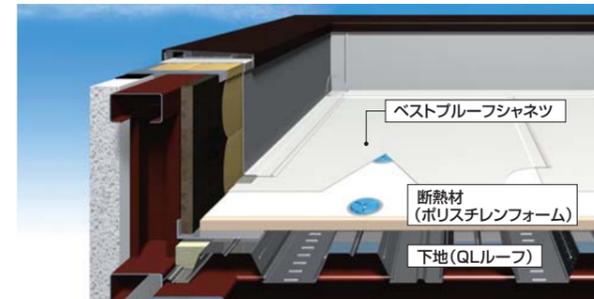
露出する一部の部材を除き、ほとんどの部材が一般仕様と同じものが適用可能ですので、シートの指定を変更するだけで、屋根に遮熱(高反射)性能を付与できます。

■図1 一般的なRC造の屋上の例



●このイラストは、LSN-210 UD仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

■図2 工場や倉庫などの金属下地屋根の例



●このイラストは、SD-S UD(BSN-225D UD)仕様の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

耐久性

高耐久ルーフィングで、 改修サイクルを延長

遮熱ルーフィングと汎用ルーフィングを同時に促進劣化試験を行った結果、表面状態に大きな差が現れました。

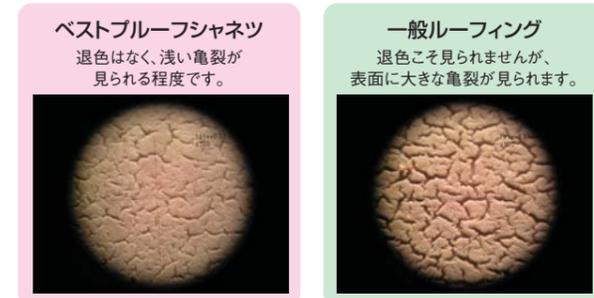
亀裂の入り方から、遮熱ルーフィングの方が、劣化が抑えられることが証明されました。よって、改修サイクルの延長にも貢献します。

改修サイクルが延長されることにより、建物がその寿命を全うするまでのトータルの改修費が低減できるとともに、建物管理の手間を軽減するメリットがあります。

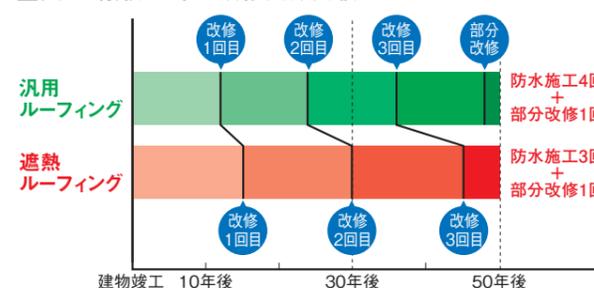
※防水性能の保証は、汎用ルーフィング・遮熱ルーフィングともに10年です。

■図3 表面劣化状態の比較

試験条件:メタルウェザー照射 1,344時間(照射紫外線量 20年相当分)



■図4 築後50年の改修回数比較



*新築時からシート防水が採用されたと仮定しています。
*改修サイクル/一般ルーフィング12年、ベストブルーファシャネツ15年と仮定。

ハイレベルの遮熱性能

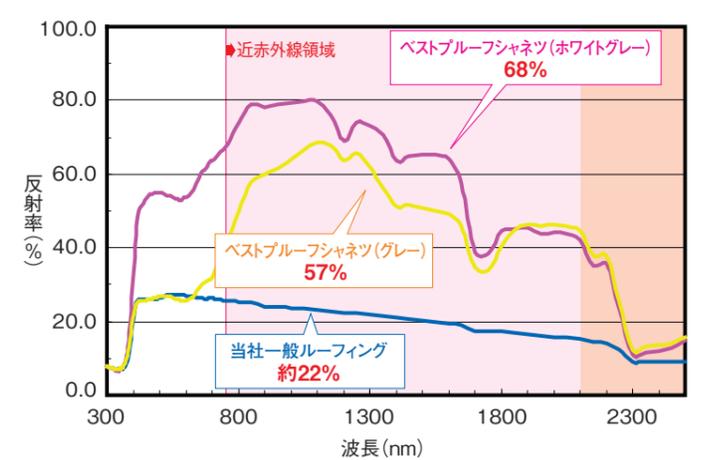
日射反射率 最大約70%で冷房費も削減

日射反射率は熱となる光(赤外線)の反射能力を示します。つまり、反射率が高いほど、温度上昇が抑えられることになります。

遮熱ルーフィングは約55~70%のすぐれた反射性能を持ち、屋根面の温度上昇が抑えられます。その結果、屋上面から建物に入る熱量が少なくなり、冷房負荷低減=冷房費削減効果発揮します。また、蓄熱・熱変動も抑えられるので、建物を保護する効果も期待できます。

また、平成22年度4月からグリーン購入法特定調達品に高日射反射率防水が加わり、ロンブルーファシャネツ・ベストブルーファシャネツともに適合します。

■図5 分光反射率グラフ(300nm~2500nm)



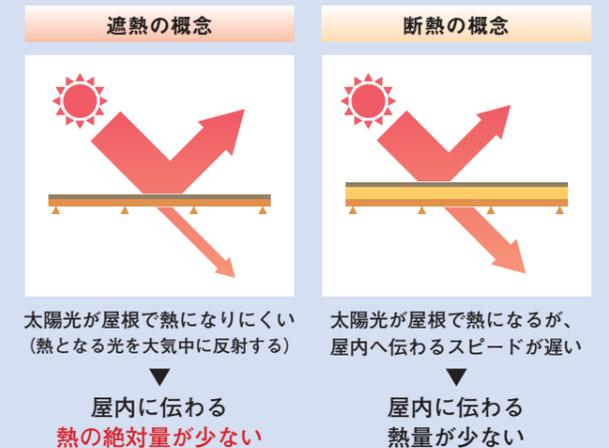
%数値は日射反射率(KRK規格に基づく測定値)

遮熱と断熱の違い

遮熱とは、太陽光のうち特に近赤外線を反射し、温度上昇を抑え屋内に伝わる熱の量を少なくする技術です。そのため、光の強い夏季に性能を発揮します。

一方、断熱は断熱材を使用し、屋外・屋内間の熱移動を抑える技術です。

断熱工法では、断熱材が蓄熱しルーフィング・断熱材ともに劣化が進みやすくなります。また、夏季はその輻射熱により屋内に蒸し暑さを感じることもあります。しかし、遮熱では、ルーフィングの温度上昇が抑えられるので、通常断熱工法よりも劣化が抑えられます。そのため、ロンシールでは断熱工法と遮熱工法の併用をお勧めします。



屋内に伝わる熱の絶対量が少ない

屋内に伝わる熱量が少ない

日射反射率について

日射反射率は、光の中の「物を温める性質を持つ赤外線領域の光(780nm~2500nm)に着目し、太陽光の内、地上に到達する強度の比を換算・平均化した数値(=赤外反射率)です。そのため、分光反射グラフ(図5)で80%近い値を示しても、反射率としては70%となります。(合成高分子ルーフィング工業会(KRK)規格 S-001 高反射率防水シート)

また、JIS・東京都などの基準にある日射反射率は、温度上昇への影響が少ない可視光領域まで含む数値を使用しています。この場合、数値が高いほど反射率はすぐれてはいますが、同時に眩しく感じる可能性があり、周辺環境への影響も考慮する必要があります。

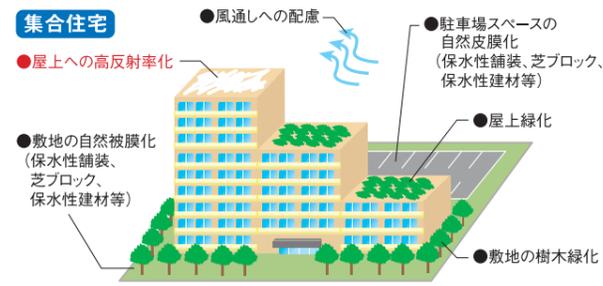
環境にやさしい

ヒートアイランド対策に貢献

屋上面の温度が上がらないことは、都市部で問題となっているヒートアイランド対策にも有効です。国土交通省や東京都などのガイドラインなどでは屋上緑化、風の通りの良い建物構造などの対策が示されていますが、特に高反射被覆材(=遮熱塗料・シートなど)は、重量負荷の問題も少なく、実効性の高い方法として、採用が推奨されています。

また、冷房負荷が軽減することにより、排熱も少なくなります。その結果、建物周辺の温度上昇が抑えられ、ヒートアイランド現象の緩和にも貢献します。

■図6 東京都「ヒートアイランド対策ガイドライン」集合住宅の例



ヒートアイランド現象とは?

空調機器や自動車などから排出される人口排熱の増加や、道路舗装、建築物などの増加による地表面の人工化によって都市部の気温が郊外に比べ高くなる現象です。主な原因としては、右表のようなものが挙げられています。

事例	要因
地表面被覆の人工化	緑地、水面、農地、裸地の減少による蒸散効果の減少 舗装面、建築物(アスファルト、コンクリート面等)の増大による、熱の吸収蓄熱の増大、反射率の低下
人工排熱の増加	建物(オフィス、住宅等)の排熱 工場等事業活動による排熱 自動車からの排熱
都市形態の変化	都市形態の変化による弱風化 都市を冷やすスポット(大規模な緑地や水面)の減少

地球温暖化対策にも貢献

冷房負荷が軽減することで、冷房に伴う消費電力量が減り、発電量も減らすことにつながります。

その結果、温室効果ガスの一つである二酸化炭素排出が減り、地球温暖化防止にも貢献します。(二酸化炭素排出係数より計算)

あわせて、改修サイクルが伸びることで、資材の製造・輸送にかかわる二酸化炭素排出低減にも貢献します。

地球温暖化について

人間の活動の拡大により二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇することをいいます。

■日本における京都議定書の対象となっている温室効果ガス排出量の推移

	総排出量	内、二酸化炭素排出量	対基準年比増減
基準年	1261.3	1144.1	—
1990	1207.8	1144.2	-4.20%
1991	1216.5	1152.6	-3.60%
1992	1224.5	1160.8	-2.90%
1993	1216.7	1153.6	-3.50%
1994	1277.1	1213.5	1.20%
1995	1341.2	1226.6	6.30%
1996	1354.7	1238.9	7.40%
1997	1349.1	1234.9	7.00%
1998	1306.2	1198.9	3.60%
1999	1327.5	1233.9	5.20%
2000	1346.0	1254.6	6.70%
2001	1320.5	1238.8	4.70%
2002	1353.7	1276.7	7.30%
2003	1359.7	1283.9	7.80%
2004	1355.0	1282.5	7.40%
2005	1357.8	1287.3	7.70%
2006	1342.1	1270.2	6.40%
2007	1374.3	1303.8	9.00%

単位：百万 t/CO₂ 換算

「日本の1990～2007年度の温室効果ガス排出量データ」(2009.4.30発表)より抜粋

よくあるお問い合わせ

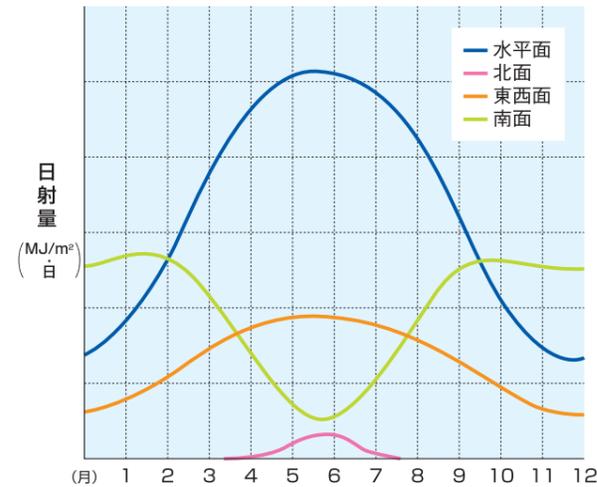
Q 反射した赤外線で、建物周辺が暑くないのですか?

A 反射した赤外線は、一部は周辺の大気や建物等に吸収されますが、無視できる程度です。大半は、宇宙空間へ反射されます。

Q 冬季は反射により、寒いのでは?

A 冬季も反射により、表面温度は通常品に比べ若干下がりますが、日射量が夏季の1/3程度のため、室内に対する影響はほとんど無視できます。

■年間の日射量



Q 汚れると反射率は低下するのでは?

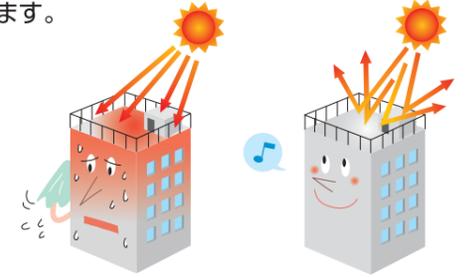
A 汚れの付着により、反射率は低下します。ただし、通常品も同程度に低下していきますので、全く差がなくなることはありません。そのため、ロンシールでは長期にわたり遮熱(反射)性能を維持するため、清掃や洗浄など定期的なメンテナンスをお願いしています。(※遮熱性能は保証対象外です。)

Q 屋根の形状により、遮熱効果は変わりますか?

A 陸屋根と勾配屋根を比較すると、勾配屋根では屋根に傾斜があるため、太陽光のあたり方・あたる量が違います。そのため、遮熱効果についても違いがあるものと考えられます。

Q 遮熱は、屋根だけでなく建物も保護しているのですか?

A 屋根が太陽熱によりあたたまると、建物の躯体にも熱が蓄積します。日中に最高気温に達し、夜間には外気温度近くまで下がる大きな熱変動は、屋根だけでなく建物全体にもクラックの発生などの影響を与えます。遮熱により蓄熱を抑えることができるので、建物の保護にもつながります。



Q 太陽光を反射する屋根がまぶしくなったりしませんか?

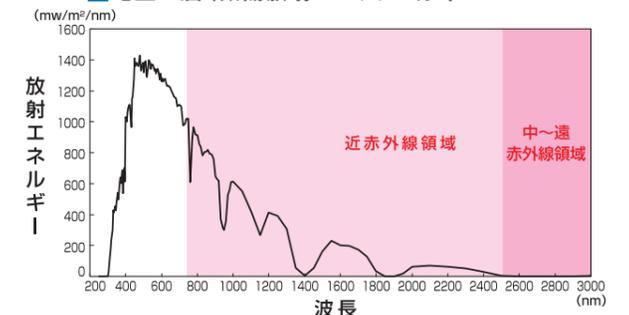
A 日射反射率を上げるために、白色にする方法がありますが、この場合は目に見える光(可視光)を反射しているため、その反射光はまぶしく感じます。しかし、ロンシールの遮熱ルーフィング・遮熱塗料は、太陽光の内、人の目では見えない光(赤外線)を中心として反射しており、可視光の光は通常ルーフィング並にしていますので、「遮熱=まぶしい」ということはありません。



Q 遠赤外線は反射しないの?

A 暖房器具などで、遠赤外線という言葉がよく使われますが、太陽の光として、地上に届く遠赤外線はごくわずかです。そのため、反射しないわけではないですが無視できる程度です。

■地上に届く太陽放射スペクトル分布

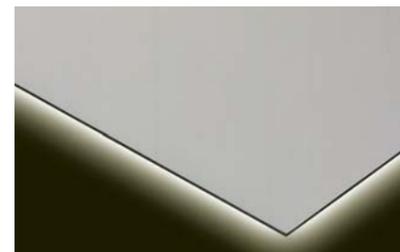


主要資材

※製品の梱包・形状は、予告なく変更となる場合があります。

●専用資材

ルーフィング(防水シート)



用途に合わせて、3種類のシートをご用意しています。

■素材:塩化ビニル樹脂系(JIS A 6008:一般複合タイプ)



ホワイトグレー
LSN-51
BSN-51
BSNT-51

グレー
LSN-54
BSN-54
BSNT-54

ルーフィング	規格・色数	重量	備考
ロンブルーシャネツ	2.0mm厚×1,200mm×10m×2色	2.6kg/m ² 、31kg/巻	遮熱(高反射)タイプ(歩行対応)
ベストブルーシャネツ	1.5mm厚×1,230mm×20m×2色	1.9kg/m ² 、47kg/巻	遮熱(高反射)タイプ(非歩行)
ベストブルーシャネツ立上り用	1.5mm厚×1,830mm×10m×2色	1.9kg/m ² 、35kg/巻	遮熱(高反射)タイプ(非歩行・立上り用)

成型役物(出隅・入隅)



USコーナーシャネツ

■素材:塩化ビニル樹脂系
■用途:機械的固定工法 出入隅補強用

規格:出隅用 2.0mm厚×152mm×152mm
×50mm×30個/ケース
入隅用 2.0mm厚×90mm×90mm
×90mm×30個/ケース

ブルーコーナーシャネツ

■素材:塩化ビニル樹脂系
■用途:接着工法 出入隅補強用

規格:出隅用 2.0mm厚×102mm×102mm
×50mm×50個/ケース
入隅用 2.0mm厚×50mm×50mm
×50mm×50個/ケース

機械的固定工法用部材(US工法用 補強用セット)



ロンブルーシャネツ補強用セット

■素材:塩化ビニル樹脂系

規格:補強用シートL 2.0mm厚×150mmφ×100枚
補強用シートS 1.5mm厚×85mmφ×100枚

ベストブルーシャネツ補強用セット

■素材:塩化ビニル樹脂系

規格:補強用シートL 1.5mm厚×150mmφ×100枚
補強用シートS 1.5mm厚×85mmφ×100枚

ルーフィング端部用シール剤



ブルーシーラーシャネツ

■主成分:THF/アノン

規格:3kg/缶



脱気システム



脱気盤30Lシャネツ

■素材:塩化ビニル樹脂系/ポリエチレン

規格:脱気盤 直径120mmφ×5枚、
定形プチルシール材付
通気シート 直径220mmφ×5枚

●共通資材

用途	名称	規格	備考
接着剤	ブルーセメントA	3kg/セット・18kg/セット	変成エポキシ樹脂系 / 平場一般接着工法用 / JAJA F☆☆☆☆ / 標準使用量:0.35~0.45kg/m ² / 火気厳禁
	ブルーセメントNR	3kg/缶・15kg/缶	NBR系 / 立上り接着工法・LPフォーム接着工法用 / JIS F☆☆☆☆ / JAJA 4VOC基準適合 / 標準使用量:0.4~0.6kg/m ² / 火気厳禁
	ロンタックセメント	18kg/缶	アクリルエマルジョン系 / 絶縁緩衝シート仮固定用 / JIS F☆☆☆☆ / JAJA 4VOC基準適合 / 標準使用量:0.05~0.1kg/m ²
絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600	1.0mm×1,200mm×100m	発泡ポリエチレン・ポリエチレン繊維強化品 / 機械的固定工法用

用途	名称	規格	備考
断熱材	LPフォーム	10mm×1000mm×25m/巻 15・20・25・30・35・40mm × 1,000mm×2,000mm	架橋ポリエチレンフォーム A-PE-B-1.1準拠 F☆☆☆☆準拠 / 接着断熱工法(123仕様)用 / 熱伝導率 0.038W/m・K(23°C) / 受注生産品
	YBボード	30mm×910mm×910mm	ビーズ法ポリスチレンフォーム 1号 A-EPS-B-1準拠 F☆☆☆☆準拠 / 接着歩行断熱工法(124仕様)・断熱機械的固定工法(224仕様)用 / 熱伝導率 0.036W/m・K(23°C)
	ポリスチレンフォーム	(スキン層あり) 25・30・35・40・50mm×910mm×910mm (スキン層なし) 20・25・30・40・50mm×910mm×1,820mm	押出法ポリスチレンフォーム 3種b A-XPS-B-3b F☆☆☆☆ / 接着歩行断熱工法(125仕様)・断熱機械的固定工法(225仕様)・SD仕様(225D)用 / 熱伝導率 0.028W/m・K(23°C)
	ベストボードIN	25・30・35・40・45・50mm×1,000mm ×1,800mm	硬質ウレタンフォーム A-PUF-B-2.1準拠 F☆☆☆☆準拠(25・30mm) / A-PUF-B-2.2準拠 F☆☆☆☆準拠(35~50mm) / 接着歩行断熱工法(127仕様)・断熱機械的固定工法(227仕様)・SD仕様(227D)用 / 熱伝導率 0.023W/m・K(23°C) / 受注生産品
	クランボード	30・35・40・50mm×910mm×1,820mm	イソシアヌレート変性硬質ウレタンフォーム A-PUF-B-2.2準拠 F☆☆☆☆準拠 / 接着歩行断熱工法(127仕様)・断熱機械的固定工法(227仕様)・金属下地 断熱機械的固定工法(SD仕様(227D仕様)) / 熱伝導率 0.024W/m・K(23°C) / 受注生産品
	ネオマフォーム	50・60・66mm×910mm×1,820mm	フェノールフォーム A-PF-B-2.1 F☆☆☆☆ S / SD仕様(222D)用 / 熱伝導率 0.022W/m・K(23°C)
防湿フィルム	防湿フィルム	0.15mm×1,000×50m	ポリエチレンフィルム / 断熱工法用防湿フィルム(国交省仕様SI-M2・日本建築学会仕様S-PMT[寒冷地仕様])
無機質強化板	OLパネル	7・10mm×915mm×1,365mm	両面ガラス繊維混入火山噴サントアッシュフェノール樹脂板 / 接着歩行断熱工法用 / 熱伝導率 0.230W/m・K / 不燃認定番号 NM-9240 / 受注生産品(7mm)
機械的固定工法用鋼板	BP-H1N	1.6mm×60mmφ×100枚	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / US工法(後付け機械的固定工法)用
	UD-1PV	0.7mm×87mmφ×100枚	塩化ビニル樹脂被覆ステンレス鋼板 / UD工法(先付け機械的固定工法)用
	UD断熱セット	0.7mm×87mmφ×100枚 1.12mm×100mmφ×100枚	塩化ビニル樹脂被覆ステンレス鋼板・チップボール紙 / UD断熱工法用 / UD-1PVとUD緩衝用パッチのセット
	BP-H2	1.6mm×52mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / フラットバー
	BP-H3	1.2mm×50mm×50mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / コーナー
	BP-H3N	1.2mm×52.7mm×20mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / コーナー
	BP-H4	1.2mm×10mm×50mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / 水切り下
	BP-H5	1.2mm×70mm×57mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / パラベット天端 / ジョイナー別途(10個/ケース)
	BP-H6	1.2mm×50mm×50mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / コーナー
	BP-7	1.2mm×350mm×350mm×5枚	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / ドレイン・パイプ周辺
	BP-H8	1.2mm×100mm×35mm×2m×5本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / 軒先 / ジョイナー別途(10個/ケース)
	BP-H9	1.2mm×150mm×65mm×2m×5本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / 軒先 / ジョイナー別途(10個/ケース)
	BP-H15	1.2mm×48mm×15mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / コーナー
	BP-H18	1.2mm×100.5mm×25mm×2m×10本	塩化ビニル樹脂被覆鋼板 / コーナー
BS-H1	0.5mm×60φ×100枚	ステンレス鋼板 / OLパネル固定用	
固定用ビス	プラグ・ビス	ビス/プラグ HUD-30・35・4.5φ×30・35mm/6.0φ×30mm 500セット/ケース HUD-50・60・4.5φ×50・60mm/6.0φ×50mm 500セット/ケース HUD-75・90・105・120・5.8φ×75・90・105・ 120mm/8.0φ×60mm 100セット/ケース	ビス・ステンレス プラグ・ナイロン / 機械的固定工法用(一般地下用)
	断熱ファスナー	70・90・110・130mm×250本	ポリプロピレン / 断熱機械的固定工法・断熱材仮固定用
	SDテックビス	7.0φ×25mm×500本 7.0φ×50・60mm×300本 7.0φ×75mm×200本 7.0φ×100・125mm×100本	ステンレス / SD工法用(鋼板下地厚み:0.8~1.6mm 0.8・1.0mm時には、別途下地補強が必要)
	ドリルスクリュー FLAT-RS	5.0φ×50mm×250本 5.0φ×60mm×250本 5.0φ×70・100・130mm×100本	ステンレス / SD工法用(鋼板下地厚み:2.3~3.2mm)
	ニューポイント	FS-5019:5.0φ×19mm×500本	ステンレス / SD工法用(鋼板下地厚み:2.3~3.2mm) / 受注生産品
注入強化材	EL-2001	1.5kg/セット	エポキシ樹脂系 / 機械的固定工法注入強化材 / 標準使用量:3g/箇所 / 火気厳禁
シール材	ロンシーラントL	330ml×10本	プチルゴム系 / ブルーファンク内部シーリング / JSIA F☆☆☆☆
	ロンシーラントS	320ml×10本 プライマー150ml	変成シリコン系 / バイブ廻り・水切り目地シーリング / JSIA F☆☆☆☆ / 火気厳禁 (プライマー)
	ロンシーラントMB	8.0mm×13m×8巻	非加硫ゴム系定形シール / 機械的固定工法 BP-H5鋼板用
	ロンシーラントTB	2.0mm×50mm×25m×4巻	非加硫ゴム系定形シール / 機械的固定工法

※上記以外にも資材を使用する場合がございます。詳しくは、仕様書・施工マニュアルをご確認ください。